

1. 活動の概要

7月4日、隠岐の島町立磯小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに古代文化センターの職員から、校区内にある遺跡の紹介と出土した土器などについて話を聞きました。隠岐の島町内には実は遺跡がたくさんあることを知った子どもたちはとても驚いた様子でした。また、古墳から出土した本物の土器にも触れて、いにしへの人々の生活に思いを馳せていました。

次に、古代出雲歴史博物館の職員から、古代の玉についての説明を受けました。出雲地方は古墳時代の終わり頃から奈良時代には全国一の玉生産地になること、古代には玉を身につけられる人は限られているといった話を聞きました。その後勾玉や管玉、玉作に使われた道具の実物を触って見ましたが、きれいに磨かれた玉を見た子ども達は、その美しさに感動した様子でした。

休憩の後、勾玉づくり体験を行いました。みんなやる気満々で、石を削り始めました。真四角な原石から始めたので削る部分が多く、思った形にならず悪戦苦闘している子もいましたが、最後には仕上げ磨きも行って全員が勾玉を作りました。

2. 活動の様子

1) 隠岐の島町内の遺跡について学ぶ・古代の玉について知る



2) 古代体験活動～玉作り～

